

文化・スポーツに親しむ
街づくりと地域の活性化

正和会 川合正彦議員



問 文化・スポーツ振興は地域コミュニティの活性化、健康増進、生きがいづくりに不可欠。特に小学児童の感動体験やスポーツ体験、体力づくりは生涯に大きく影響し学校教育の中で充実すべき。しかし小学校の部活動は以前から無くさらに、陸上、水泳の記録会の廃止は問題。これを補完する教育環境づくりをする。また、地域スポーツとの連携も今後視野に入れたい。

答 授業内容の充実を図り対応する。また、地域スポーツとの連携も今後視野に入れたい。

問 文化を、教育部内に留めず広く市の総合力として活用し、付加価値の高い街文化の創造を。

答 歴史的資源を生かすとともに新たな視点で文化振興を図る。

問 障がい者の文化活動、スポーツ参加の機会拡充を図るべき。

答 ボウリング大会、草の根フェスティバルの支援充実と、障がい者スポーツ人口増に取組む。

問 交流人口、定住人口増は成長戦略の要。西新地区の再生効果は大きい。公益性に加え健



全な食文化を軸に、商業の活性化等駅前メリットを活かすべき。

答 URとも協議を重ねていく。

問 ウォーキング目的の観光客の増加が顕著。東海道や史跡の整備、ルートづくりなど環境整備と受け入れ体制の強化を。

答 観光交流センター開設を機に、関係団体と充実策を進める。

議員提出議案の紹介

3月定例会にて可決された、3つの議員提出議案を紹介します。

第1 「知立市文化芸術基本条例」に対する附帯決議

本条例を施行するに当たり、議会から3つの留意事項を示したもの。

- 1 審議会等の合議制機関の速やかな設置
- 2 文化芸術の推進に関する計画の策定
- 3 多文化共生における施策との有機的な連携

第2 知立市議会基本条例の一部を改正する条例

大規模災害時等の緊急事態の発生時において、議会が迅速かつ適切に対応するために、条例の一部を改正するもの。

第3 障がい児・者の生きる基礎となる「暮らしの場」の早急な整備を求める意見書

地域で安心して暮らすために必要な社会資源の拡充を図るとともに、地域で相互に連携した運営と拡充が図られ、障がい児・者が体験的に選択できる状況を実現するよう、国に対し強く要望するために意見書を提出するもの。